

知床五湖登録引率者審査部会（第3回）議事メモ

実施日時：平成22年12月9日（木）14:00～16:50

会場：世界遺産センターレクチャールーム

出席者：葛西（知床財団）、古坂（自然公園財団）、松田・若月（引率者代表）、梅沢（ウトロ自治会）、山本（ガイド協議会）、野川（環境省）、大宮（北海道）、岡田（斜里町）…9名

（1）登録試験の結果報告と確認について

事務局から筆記試験の問題-解答、実地試験の評価表を示しながら、試験の経過及び採点結果の報告の後、受験者26名中25名合格の確認を行った。

（2）ヒグマ活動期時間帯枠の設定について

知床斜里町観光協会からのヒグマ活動期の時間帯枠設定に関する議案提起（参考資料3-2）があったことから、これに関する討議を行った。

[提起の概要]

観光船運航時間や宿泊施設へのチェックイン・アウトの時間などとの関係を踏まえて、知床五湖の利用機会を最大化するための時間帯枠、利用間隔の設定を行う。

[部会での検討結果]

- 10分間隔での運用も是とするが、協議会でこれまで15分間隔の議論があったことから、部会案を作成し協議会に提示して確認する。
- 部会案は、部会事務局と引率者代表により作成する。

[部会内での主な意見]

10分間隔とすることについて

- ・ヒグマ対策的には、時間間隔を変えることによる問題はないと思われる。
- ・混雑感の増加についても、あまりないと思われる。
- ・平成21年度の利用コントロール実験では、10分間隔での受付について、問題なしとの結果が報告されている。
- ・早めに集合するなどの引率者側のルールを設けることで受付の円滑化は図れる。
- ・事前予約無しの当日受付のビジターを円滑に受けるための工夫が必要である。
- ・10分間隔の時間帯と15分間隔の時間帯があってもよい。

（3）平成23年度からの新規養成について

平成23年度からの登録引率者の新規養成についての意見交換を行い、次回部会にて複数の養成カリキュラム案を事務局から提示し、再討議をすることとした。

[部会内での主な意見]

- ・登録引率者の枠の上限を決めるのがよいかどうかを決めなければならない。
- ・公平性の観点から新規養成のカリキュラムや試験をこれまでよりも難しくする場合には、今回合格した登録引率者に対しても同様の追加カリキュラムを組むべきである。
- ・一年更新で毎年試験や研修を行うのではなく、更新は講習会程度にしたらどうか。